

地球温暖化対策研究戦略の策定について

平成20年7月29日

農林水産技術会議事務局

背景

- 『農林水産省地球温暖化対策総合戦略』を踏まえ、今後5年程度を視野に、総合的に研究開発を推進する上で考慮すべき課題について、研究戦略として整理。
- 今後は本戦略に基づき、ライフサイクルアセスメントを考慮した総合的な研究を推進するとともに、農林水産研究基本計画、研究独法の研究計画等の見直しに反映予定。

研究戦略の骨子

- ① 地球温暖化防止技術の開発
 - ・ 温室効果ガス循環モデルを充実し、排出削減技術開発を推進。
(農地の炭素循環モデルの構築、省エネ技術、バイオ燃料技術 等)
 - ・ 次期約束期間の枠組み作りに向けた国際的議論の場へ科学的知見を提供。
(日本の農地土壌の炭素貯留機能データの提供 等)
- ② 地球温暖化適応技術の開発
 - ・ 共通のシナリオ・時間軸を用いた、より精度の高い影響予測を実施。
 - ・ 生産現場でのニーズや影響予測を踏まえて計画的に生産安定技術を開発。
(高温障害対応の品種育成、栽培技術の改善、山地等災害への適応技術 等)
- ③ 国際共同研究の推進
 - ・ 開発途上国における持続可能な農林水産業を実現する防止・適応技術を開発。
(農山漁村の持続的発展モデルの開発、乾燥や塩害に強い作物の開発 等)
 - ・ 開発途上国における温暖化影響予測、世界食料需給モデルを開発。

地球温暖化対策研究戦略について

農林水産省地球温暖化対策総合戦略

(温暖化防止策、適応策、国際協力を推進)

農林水産地球温暖化対策研究連絡協議会

(農環研、森総研、水研センター等研究機関)

総合的な研究の推進

地球温暖化対策研究戦略

(地球温暖化対策研究推進委員会で策定)

農林水産研究基本計画 等

◆地球温暖化防止技術

- 温室効果ガスの循環モデルの構築
次期約束期間の枠組み作りに向けた国際的議論の場に科学的知見を提供。
- 温室効果ガスの排出削減技術の開発
農林水産物の生産性や経済性を考慮した排出削減技術を開発。

◆地球温暖化適応技術

- 将来の温暖化影響の予測・評価
共通のシナリオ・時間軸を用いた体系的な将来予測を実施。
- 生産安定技術の開発
高温障害等への適応技術を優先的に開発。影響予測を踏まえ計画的に研究。

◆国際共同研究

- 排出削減、適応技術の共同研究
我国の技術や経験を活用した防止・適用技術を開発。
- 影響予測、世界食料需給モデル開発
開発途上国における計画的な温暖化対策の実施を可能とする情報の発信。